

平成21年度
人工知能研究助成要綱

(財)人工知能研究振興財団

1. 助成研究の適格要件

次の各号の要件を満たすものとします。

- (1) 産業技術の高度化に寄与する研究であること
- (2) 研究を実施する者(研究実施者)が、研究を計画に従って遂行するに足る能力を有すること
- (3) 研究の計画及び方法が目的を達成するために適切であり、かつ、十分な成果を期待し得るものであること

2. 研究テーマ

人工知能及び関連技術分野(人工知能を活用した情報処理技術、情報通信技術等)の高度化に関する調査、研究及び開発(以下、「研究」という。)であって、次の各号に掲げるものとします。

- (1) 産業・環境分野における技術高度化並びに生産性改善のための人工知能及びその利用技術に関する研究
- (2) デザイン向上のための知的環境構築支援システムに関する研究
- (3) 高齢者・身障者等の社会参加支援知的システムの開発に関する研究
- (4) ヒューマンインタフェース・マルチメディア・センシング感性処理システムの高度化に関する研究
- (5) ロボットの運動・感覚・思考・知能・感情等に関する研究
- (6) インタ-ネット・モバイルシステムの知的な利用法に関する研究
- (7) ヒューマノイドシステム・人工生命システムによる生活向上に関する研究
- (8) その他、人工知能及びその利用技術等に関する研究

3. 研究助成金の限度額

100万円

4. 助成研究募集期間

平成21年7月1日～平成21年9月30日

5. 研究助成金の交付決定

平成21年11月下旬

6. 研究助成の対象となる経費

研究開発に要する機械器具装置・備品費(賃借料を含む。)、図書等資料購入費、材料・消耗品費、旅費、技術指導謝金等であって、研究者本人の人件費(給料等)以外の経費とします。

7. 研究完了期日

研究助成金交付後2年以内

8. 助成研究の審査・決定方法

- (1) 当財団の審査委員会において、応募者から提出された研究助成金交付申請書により、厳正に審査し決定します。なお、企業以外の者の研究については、「産業界との共同研究」であることを配慮事項とします。
- (2) 助成額は、審査委員会の審査結果に基づき決定します。

9. 研究助成金の交付

- (1) 研究助成金の交付は、研究実施者と協議のうえ、前払い、分割払い又は清算払いの方法により行います。
- (2) 交付された助成金は、研究の成功不成功に係わらず、その返還を求めないこととします。ただし、助成研究実施計画書に記載した研究が実施されなかった場合及び、研究実施者が当財団の規程等に違反した場合には、研究助成金の一部又は全部を返還していただくことがあります。

10. 助成研究完了報告等

- (1) 助成研究が完了したときは、研究完了の日から起算して30日以内に完了報告書を提出してください。
- (2) 助成研究が当財団の会計年度をまたがるときは、毎年3月31日現在の研究の進捗状況を、4月30日までに報告してください。
- (3) 助成研究計画を変更又は中止しようとするときは、当財団に届け出のうえ、指示を受けてください。

11. 助成研究成果の帰属

助成研究によって取得された工業所有権は、研究実施者に帰属することとします。ただし、特許権、実用新案権または意匠権を取得したときは、速やかにその旨を当財団に届け出てください。

12. 助成研究の成果の発表

- (1) 研究の成果は、当財団の機関誌、ホームページへの掲載及び助成研究成果発表講演会等において発表していただく予定をしています。
- (2) 研究実施者は、助成研究の成果を学会等に発表（学会誌等への掲載を含む。）する場合には、当該研究が当財団の助成を受けて実施したものである旨を明示するとともに、その結果を、関係資料（掲載学会誌等）を添えて、報告してください。

研究助成金交付申請書 記載要領

個人・グループ用

平成 年 月 日

財団法人 人工知能研究振興財団
理事長 清水 定彦 様

申請者

氏 名 (印)

(グループの場合はグループ名及び代表者)

住所(所在地)

所属先(役職)

(電話番号)

(FAX番号)

(E-mail)

研究助成金交付申請書

財団法人人工知能研究振興財団研究助成規程第7条第2項の規定に基づき、下記のとおり研究助成金の交付を申請します。

記

1. 研究テーマ

2. 研究費総額 金

千円

助成研究実施計画書

「9.研究の資金計画」

収入の合計=支出の合計=研究費総額

3. 研究助成金要望額 金

千円

助成研究実施計画書

「9.研究の資金計画」収入の部の助成金要望額を記載してください。

助成研究実施計画書

1. 研究者の略歴(グループの場合は代表者の略歴)

項目	年	月	内容
最終学歴			
職歴			
業績	-	-	別葉(A4版)にお書きください。 〔グループの場合は、グループメンバーのものも併せてご記入ください。〕

2. 産業界との共同研究であることの有無 (有・無)

共同研究が「有」の場合は「3. 指導者及び協力者または共同研究者」に氏名等を記載して下さい。

3. 指導者及び協力者または共同研究者

項目	氏名	所属・職名	指導、協力または共同研究事項
指導者			
協力者			
共同研究者			

4. 研究の開始年月日及び完了予定年月日

開始 平成 年 月 日
(平成 年1月1日以降の開始日を記入してください。)

完了予定 平成 年 月 日

5. 実施場所(2か所以上ある場合は、すべての場所を記載してください。)

(1)主たる実施場所

(2)その他の場所

6. 研究の必要な理由・目的

この欄には、概要を記入し、詳細については別紙にお書きください。なお、概要は専門外の者でも分かるように、ポイントを簡潔にまとめてお書きください(ポンチ絵による説明も含む。)。7.8.についても同様とします。

7. 研究の内容及び方法

8. 研究によって期待される効果

6～8の詳細については、審査するに当たって最も重要な事項ですから、別紙に具体的、かつ、分かりやすくお書きください(6～8合わせて3,000字程度)。

9. 研究の資金計画

収入の部

(単位:千円)

項 目	金 額	摘 要
助成金要望額		
自己負担額		
そ の 他		他からの補助金等はその他へご記入下さい。
合 計		収入の合計 = 支出の合計 = 研究費総額 (1 ページ「2.研究費総額」)

支出の部

経費区分	種別(注1)	仕様(注2)	単位(注3)	数量	単価(円)	合計(千円)	備 考
機械装置費 (注4)							
外 注 費							
材 料 費							
図書購入費							
旅 費							
技術指導費							
その他経費							
合 計							研究費総額の支出です。 支出の合計 = 収入の合計 = 研究費総額 (1 ページ「2.研究費総額」)

(注1)種別とは、機械装置名、材料名等、それぞれの品名等をいいます。

(注2)仕様とは、それぞれの形式、性能、構造等をいいます。

(注3)単位とは、それぞれの物の算出単位をいい、kg、 μm 、缶、台、件、時間等をいいます。

(注4)機械装置については、購入、製作、改造又は借用の別を備考欄に記入すること。

10. 研究助成金使用予定

(単位:千円)

年度別 半期別		金額	摘要
平成 年度(21/1~3)			
平成 年度	前期 (4~9月)		
	後期 (10~3月)		
平成 年度	前期 (4~9月)		
	後期 (10~3月)		
合計			前頁「9.研究の資金計画」収入の部の助成金要望額と同額を記載してください。